
諏訪市地域公共交通計画

概要版

令和 5 年 3 月

諏訪市地域公共交通活性化協議会

1

計画の背景

◇ 背景と目的

本市では、平成 26（2014）年 3 月に「諏訪市生活交通ネットワーク計画」を策定し、公共交通体系の確保・維持・改善に取り組んできました。しかし、少子高齢化に伴う人口減少や市民の日常生活における自家用車への依存、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大等により、バス利用者は減少し、地域公共交通を取り巻く環境は益々厳しい状況となっています。そのような中、国では令和 2（2020）年 11 月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」が施行されました。これにより、原則として全ての地方公共団体において地域公共交通に関するマスタープランとなる「地域公共交通計画」を策定し、市民や交通事業者、行政等、地域公共交通に係る関係者が相互に連携しながら、地域公共交通の確保・維持・改善に取り組んでいく必要があります。

本市においても、首都圏方面や中信地域を結ぶ JR 中央本線、近隣市町村を結ぶ路線バスの岡谷茅野線や諏訪湖周を回るスワンバス、市内を運行するかりんちゃんバス等の様々な公共交通や多様な利用ニーズに対応した輸送サービスを組合せ、新たな技術も活用しながら、将来に渡って持続可能な地域公共交通の実現を目指していきます。

これらを踏まえ、諏訪市の地域公共交通を取り巻く様々な課題に対応し、公共交通の目指すべき姿を明らかにするため「諏訪市地域公共交通計画」を策定します。



◇ 計画の区域と期間

計画の区域は諏訪市全域とします。また、計画の期間は以下の 5 年間とします。

計画期間：令和 5(2023)年度～令和 9(2027)年度

2

諏訪市の公共交通の概況

◇ 市内の公共交通の運行状況

市内を運行する公共交通は、鉄道路線はJR中央本線が南北に通っており、上諏訪駅があります。上諏訪駅は、特急あずさが往復32本、普通列車が往復57本運行されています。

高速バスは新宿方面や京都・大阪方面への路線があります。

路線バスは、岡谷駅と茅野駅を結ぶ岡谷茅野線、かりんちゃんバス8路線(市内循環内回り線、市内循環外回り線、すわ外周線、すわライナー、かりんちゃん子バス東山線、かりんちゃん子バス大和四賀線、かりんちゃん子バス東西線、有賀・上社統合路線(かりんちゃんライナー))、諏訪湖を回るスワンバスが運行されています。

デマンド交通は、有賀峠デマンド交通と霧ヶ峰デマンド交通が運行されています。

かりんちゃん子バス大和四賀線とデマンド交通は、市内の3社のタクシー事業者(第一交通株、諏訪交通株、アルピコタクシー株)が共同で運行しています。

また、霧ヶ峰方面や有賀峠方面の後山地区の遠距離通学の児童・生徒を対象としたスクールバス等も運行されています。

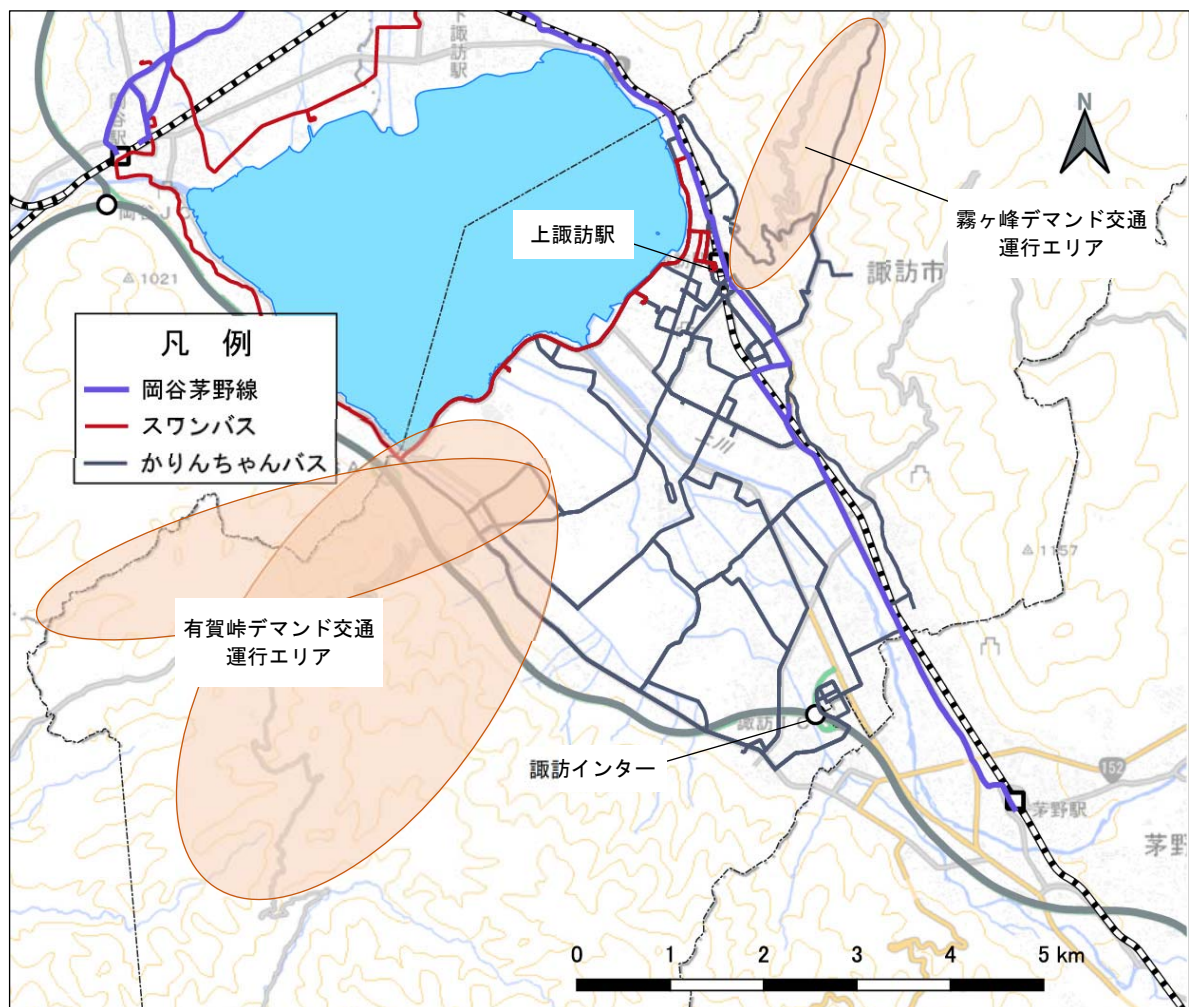


図. 市内の公共交通の運行状況

3

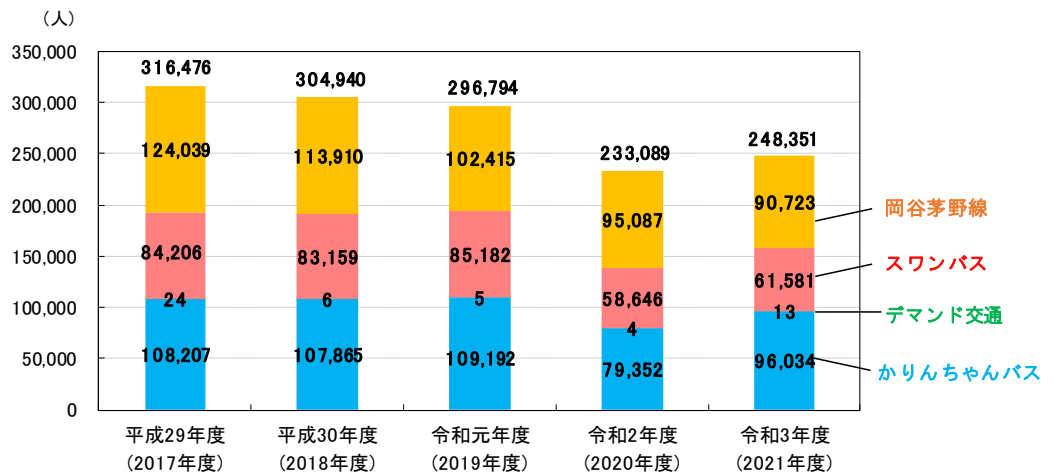
市内公共交通の利用状況

◇ 路線バス・デマンド交通の利用状況

路線バスの利用者数の推移をみると、岡谷茅野線は平成29(2017)年度から令和元(2019)年度にかけて徐々に減少傾向で、スワンバス、かりんちゃんバスはほぼ横ばいでした。令和元(2019)年度から令和2(2020)年度にかけては、岡谷茅野線、スワンバス、かりんちゃんバスともに新型コロナウイルスの感染拡大の影響により激減しています。

デマンド交通は、平成29(2017)年度には20人以上でしたが、それ以降は令和2(2020)年度まで10人以下となり、令和3(2021)年度には10人を超えています。

なお、路線バスとデマンド交通の路線別の利用状況の推移は下表のとおりとなっています。



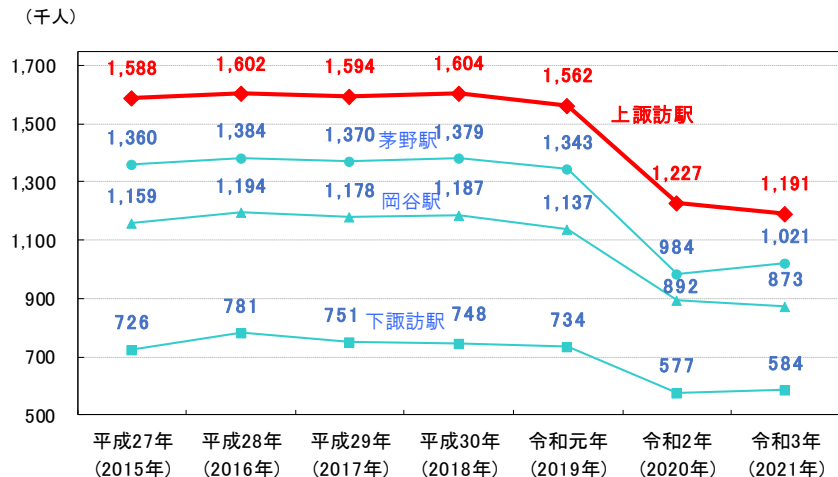
資料：諏訪市

図. 路線バス・デマンド交通の利用状況の推移

◇ 鉄道の利用状況

上諏訪駅の利用者数の推移をみると、平成27(2015)年から平成30(2018)年までは、ほぼ横ばいで推移していましたが、令和元(2019)年は僅かに減少し、令和2(2020)年以降は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により激減しています。

また、上諏訪駅の利用者数は周辺3駅(茅野駅、下諏訪駅、岡谷駅)と比較すると最も多くなっています。



資料：諏訪地方統計要覧、JR東日本長野支社

図. 上諏訪駅及び周辺3駅の利用者数の推移

4

諏訪市の公共交通が目指す姿

- ① 高齢者や学生等の利用ターゲットを見据えた公共交通ネットワークの構築。
- ② これまで公共交通を利用していなかった高齢者や学生、本市を訪れる観光客にも選ばれる移手段づくり。
- ③ 自家用車から公共交通への利用転換や観光客の足としての公共交通の充実。
- ④ 公共交通に係る様々な関係者・関係組織が連携し、AI オンデマンド交通^{※1} や MaaS^{※2} 等の新たな技術を活用しながら、持続可能な地域公共交通の実現を図る。



市民生活とみんなを支え、みんなで育む 諏訪市地域公共交通の実現

※1 AI オンデマンド交通とは？

AI を活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うシステムのこと。

※2 MaaS とは？

地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービスのことで、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等と連携することにより、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。

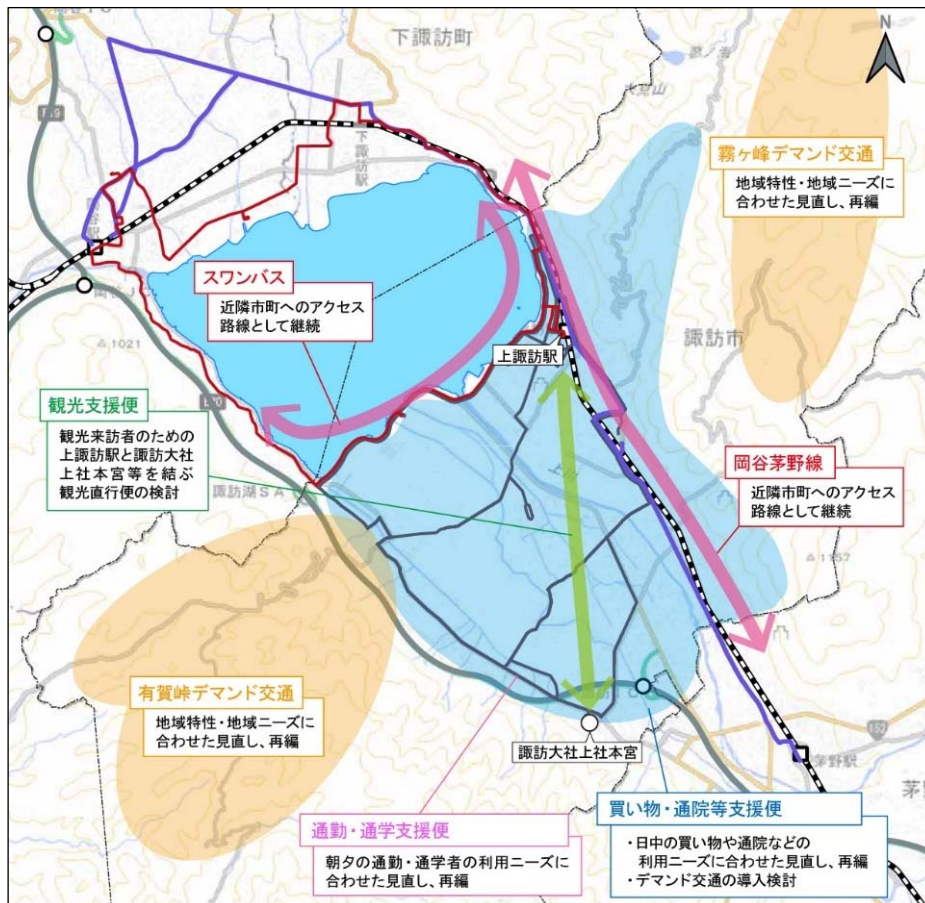


図. 諏訪市の目指す公共交通ネットワーク

※デマンド交通とは？

時刻や走行経路が決まっている路線バスとは異なり、利用者から事前に予約があった場合のみ運行する公共交通です。本市では、上諏訪駅から霧ヶ峰方面を結ぶ「霧ヶ峰デマンド交通」と西友諏訪湖南店から上野・靦石・後山・板沢方面を結ぶ「有賀峠デマンド交通」を運行しています。

課題

1. 高いマイカー需要と公共交通利用離れ
2. 定時定路線方式と生活者ニーズとの乖離
3. 公共交通に対する意識改善
4. 交通弱者の不安(運転免許返納希望、送迎利用者)
5. 既存公共交通利用者の利便性向上
6. 利用者ニーズに対応した利便性の高い公共交通網の構築
7. 観光来訪者への対応不足
8. 利用ニーズ対応と運行事業者負担とのバランス
9. 環境への取り組み

目標

利用ターゲットを見据えた公共交通ネットワークの構築

かりんちゃんバス等の既存バス路線について、利用ターゲット、提供すべきサービスを明確にして、輸送機能の見直し・再編と、新たな輸送形態を組み合わせた公共交通ネットワークを目指す。

<数値指標>

公共交通の利用者数

公共交通の認知度向上と“選ばれる”移動手手段づくり

継続的な情報発信や利用啓発活動により公共交通の認知度向上を図るとともに、移動手手段として選ばれ利用される公共交通を目指す。

<数値指標>

公共交通の満足度

持続可能な公共交通の確保・維持

ゼロカーボン実現への取り組みやユニバーサルデザインへの対応、公共交通の利用率向上を通して、将来にわたって持続可能なまちづくり及び公共交通の確保・維持に取り組む。

<数値指標>

公的負担額、公的負担 市民1人当たり負担
環境負荷軽減車両の導入数

市民・事業者・行政など多様な関わりによる地域公共交通づくり

公共交通を利用する市民や運行を担う事業者、福祉関係者、観光事業者と行政が密に連携しながら地域公共交通の確保・維持に取り組む。

<数値指標>

運賃以外の収入、収支率

目標を達成するための方針

- ・方針1：利用ターゲットを明確に定めた、利便性の高い公共交通への再編
- ・方針2：地域特性、利用ターゲットに合わせた新たな公共交通の整備

- ・方針3：すべての人が分かりやすい利用環境と情報提供
- ・方針4：自家用車から公共交通への利用転換

- ・方針5：環境にやさしい公共交通の実現
- ・方針6：交通事業者の負担を軽減させる公共交通の実現

- ・方針7：公共交通に係る関係者の連携強化
- ・方針8：多様な関わりによる相乗効果の創出

考えられる施策

①公共交通に対する関心、認識の改善
(公共交通利用啓発チラシ及びグッズの作成、バスの乗り方学習教室の実施等)

②定時定路線にこだわらない柔軟な運行手法 (AI オンデマンド交通の導入検討、MaaSの導入研究、自動運転技術の研究)

③新たな公共交通利用者の確保
(情報発信媒体による情報提供、わかりやすい時刻表等)

④輸送目的、利用ターゲットを絞ったサービスの検討(通勤対応、通院対応等)
(車両のバリアフリー化、バスロケーションシステムやキャッシュレス決済の導入検討、バス待ち環境の改善)

⑤既存公共交通の再構築
(利用ターゲットを定めた、既存バス路線の再編、交通結節点の整備)

⑥観光二次交通の検討
(来訪者のための観光直通便、公共交通と連携した利用促進)

⑦運行事業者との協働
(安全講習会実施等)

⑧運賃以外の収入方策の検討
(広告掲載、ネーミングライツ、サポーター制度、ポイントカードの導入検討)

⑨ゼロカーボンへの対応
(ノーマイカーデーの実施、環境負荷軽減車両の導入、グリーンスローモビリティの研究)

6

目標を達成するために実施する主な施策

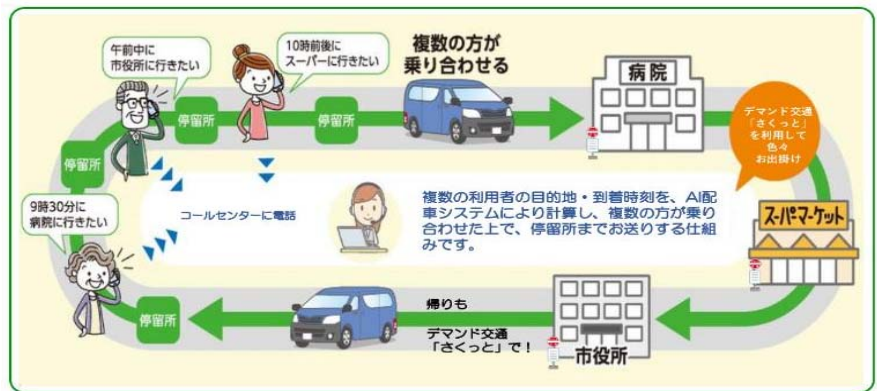
◇ 地域特性、地域ニーズに合わせて利用ターゲットを絞った新たな移動手段の導入

関連する方針：方針1・方針2
実施主体：市、交通事業者

関連する課題：課題2・課題4・
課題5・課題6



各地域の地域特性や地域ニーズに合わせて、新たにAIオンデマンド交通の導入を検討します。



資料：国土交通省、佐久市

図. AI オンデマンド交通の運行の仕組み

◇ 利用ターゲットのニーズに合わせた既存バス路線の見直し、再編

関連する方針：方針1・方針2 実施主体：市、交通事業者

関連する課題：課題1・課題2・課題4・課題5・課題6・課題7

既存のかりんちゃんバス等について、主たる利用者層(高齢者や学生)の利用ニーズに合わせた見直し、再編を行います。見直し、再編にあたってはJR中央本線の特急あずさや普通列車との接続状況も踏まえた検討を行います。



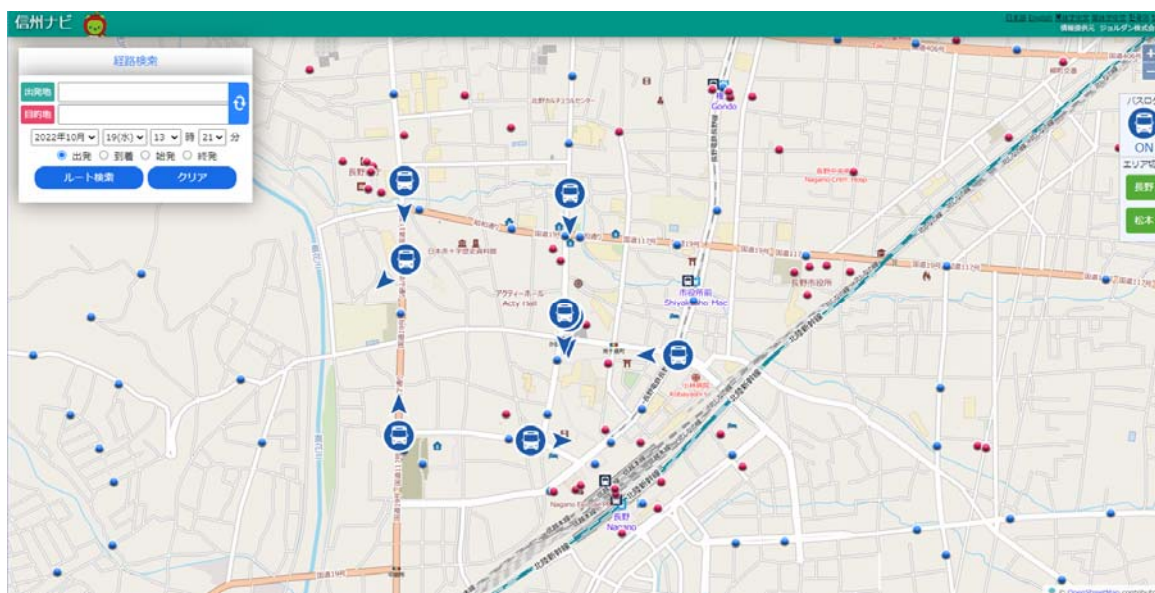
図. 特急あずさ(左)とかりんちゃんバス(右)

◇ バスロケーションシステムの導入検討

関連する方針：方針3 実施主体：市、交通事業者

関連する課題：課題1・課題3・課題5・課題6

バスロケーションシステムとは、現在のバスの位置を web 上で表示し確認することができるシステムです。利用者からは「時刻通りにバスが来ないと不安になる」という意見もあるため、バスロケーションシステムの導入について検討します。



資料：信州ナビ

図. 信州ナビでのバスの位置表示

◇ キャッシュレス決済の導入検討

関連する方針：方針1・方針3・方針4 実施主体：市、交通事業者

関連する課題：課題1・課題3・課題5・課題6・課題7

利用者が現金を使わずに、IC カードやスマートフォンのアプリを用いて運賃を支払うキャッシュレス決済の導入について国や長野県の動向を注視しながら検討します。



図. 令和3年4月から導入しているかりんちゃんバススマホ乗車券

◇ 交通結節点の整備

関連する方針：方針1・方針2・方針3・方針6 実施主体：市、交通事業者

関連する課題：課題1・課題2・課題4・課題5・課題6・課題7

JR 上諏訪駅は現在は西口(諏訪湖口)と東口(霧ヶ峰口)にそれぞれバス停がありますが、利用者の分かりやすさを考慮してバス停の統一化を検討します。また、日赤病院などの主要地点における公共交通の乗り換え拠点を整備します。



図. 上諏訪駅西口(諏訪湖口)バス停(左)と東口(霧ヶ峰口)バス停(右)の統一化

◇ 来訪者のための観光直通便の運行

関連する方針：方針1・方針2 実施主体：市、交通事業者、関係団体

関連する課題：課題7

多くの観光来訪者が訪れる「諏訪大社上社本宮」など主要な観光拠点と JR 上諏訪駅を結ぶ直通便の運行を検討します。

また、「諏訪大社」の各宮や「JR 茅野駅」など隣接市町への乗り入れも視野に入れた検討を行います。

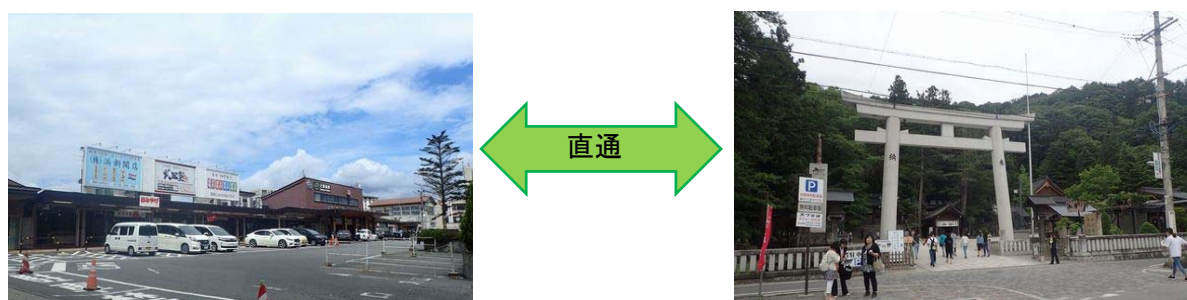


図. 上諏訪駅～諏訪大社上社本宮への直通便

◇ 公共交通と連携した利用促進

関連する方針：方針４・方針７・方針８ 実施主体：市、交通事業者、関係団体

関連する課題：課題１・課題３

観光スポットや飲食店、商店と連携し、公共交通利用者への付加サービスを加えた利用促進、地域振興につなげる仕組みを検討します。

※令和２年１２月１１日一部更新

広域路線バスのご利用で特典が受けられます！

以下の広域路線バスをご利用された方に、商業施設等で特典が受けられる「乗車証明書」をバス車内で発行しています。広域路線バスに乗って、ちょっぴりお得な生活を始めませんか。

「乗車証明書」をお求めの際は、バス降車時に乗務員へお伝えください。

<対象となる広域路線バス>

- ・神宮あやめ白帆ライン（チェリオ・イオン～鹿島神宮駅～延方駅～水郷潮来バスターミナル～潮来駅～麻生庁舎）
- ・鹿行北浦ライン（道の駅いたこ～水郷潮来バスターミナル～潮来駅～延方駅～レイクエコー～あそ湯泉「白帆の湯」（天王崎）

<乗車証明書特典対象施設（順不同）>

対象施設（所在地）	【路線名】・「最寄バス停」	特典内容
ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー （潮来市永山７７７）	【神宮あやめ白帆ライン】 「ショッピングプラザ ラ・ラ・ルー」下車	・以下の対象店舗でお買い上げ（１００円以上）のお客様に対して１００円割引（対象店舗：ウイニングエクセラ、大地堂、ミーツ、カネヒラ、ピーンズ、イイジマ、アーネスト、なごみ、ミミー） ※令和３年１月２日より複数枚同時利用不可
セイミヤ 潮来店 （潮来市潮来６１７）	【神宮あやめ白帆ライン】 「二丁目」下車 【鹿行北浦ライン】 「四丁目」下車	・商品お買い上げのお客様へ購入金額に応じてポイントを付与 ・ポイントを貯めることにより、特典と交換が可能です。
セイミヤ 延方店 （潮来市小泉南１３６５）	【鹿行北浦ライン】 「潮来税務署前」下車	

資料：潮来市

図. 潮来市のバス利用時の特典サービス

◇ゼロカーボンへの対応

・ノーマイカーデーの実施

関連する方針：方針４・方針５ 実施主体：市

関連する課題：課題９

自家用車を用いずに、電車やバス等の公共交通を利用して移動してもらう「ノーマイカーデー運動」を実施します。

・環境負荷の低いバス・タクシー車両の導入

関連する方針：方針５ 実施主体：市、交通事業者

関連する課題：課題９

二酸化炭素の排出を抑制し、環境にやさしいバス・タクシー車両の導入を検討します。

資料：日光市観光協会、小諸市



図. 日光市低公害バスと小諸市のEVバス



7

数値指標の設定

数値指標の項目や現況値、目標値及びそれぞれの値の根拠は下表のとおりです。

表 数値指標の設定

項目	関連する目標	現況値	目標値
公共交通の利用者数	利用ターゲットを見据えた公共交通のネットワークの構築	96,034 人 令和 3 (2021) 年度	100,000 人 令和 9 (2027) 年度
公共交通の満足度	公共交通の認知度向上と“選ばれる”移動手段づくり	3.15 ポイント 令和 4 (2022) 年度	3.3 ポイント 令和 9 (2027) 年度
公的負担額	持続可能な公共交通の確保・維持	8,967 万円 令和 3 (2021) 年度	7,600 万円 令和 9 (2027) 年度
公的負担 市民一人当たり負担額	持続可能な公共交通の確保・維持	1,859 円 令和 3 (2021) 年度	1,600 円 令和 9 (2027) 年度
環境負荷軽減 車両の導入数	持続可能な公共交通の確保・維持	0 台 令和 4 (2022) 年度	1 台 令和 9 (2027) 年度
運賃以外の 収入	市民・事業者・行政など多様な関わりによる地域公共交通づくり	0 円 令和 4 (2022) 年度	20 万円 令和 9 (2027) 年度
収支率	持続可能な公共交通の確保・維持	14.0% 令和 3 (2021) 年度	18.7% 令和 9 (2027) 年度

◇ 推進体制

本計画の推進は、「諏訪市地域公共交通活性化協議会」が中心となって、施策の承認・検証・評価を行いながら進めていきます。

各施策の実施や取り組みにあたっては、交通・まちづくり・観光・福祉などの様々な部局や市民、国や県、交通事業者や関係機関等の各主体が密接に連携しながら取り組んでいきます。

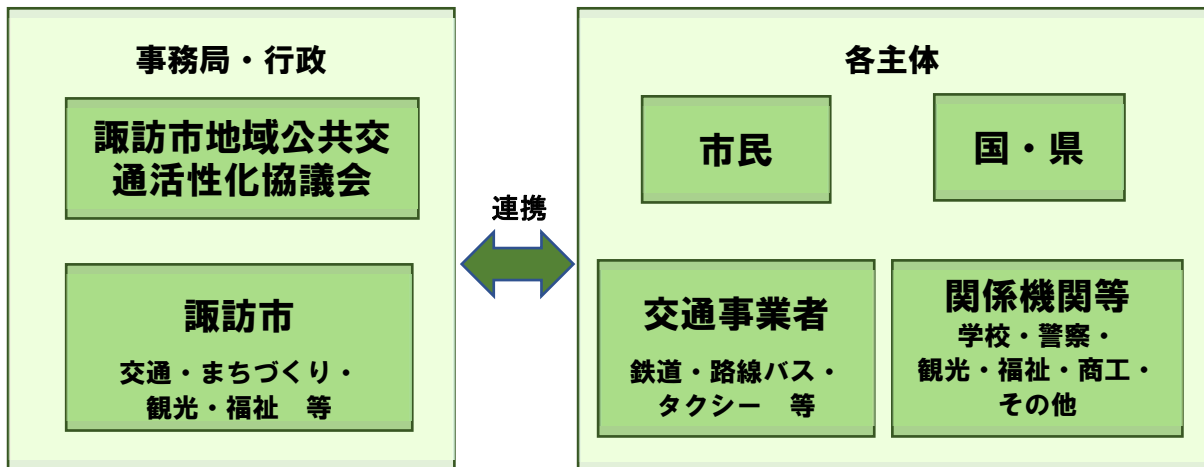


図. 各主体の連携による推進体制

◇ 計画の進捗状況の評価

計画の進捗状況の評価については、「諏訪市地域公共交通活性化協議会」において、評価・検証を行っていきます。

本計画(諏訪市地域公共交通計画)を「PLAN(計画)」として、計画中で設定している施策を「Do(実行)」し、実施した施策については、各年度に「諏訪市地域公共交通活性化協議会」で検証し、「CHECK(評価)」を行います。評価結果を踏まえて、改善の必要がある施策については、適宜「ACTION(改善)」を図ります。そして、最終年である令和9(2027)年度には、計画全般の検証と評価を行います。

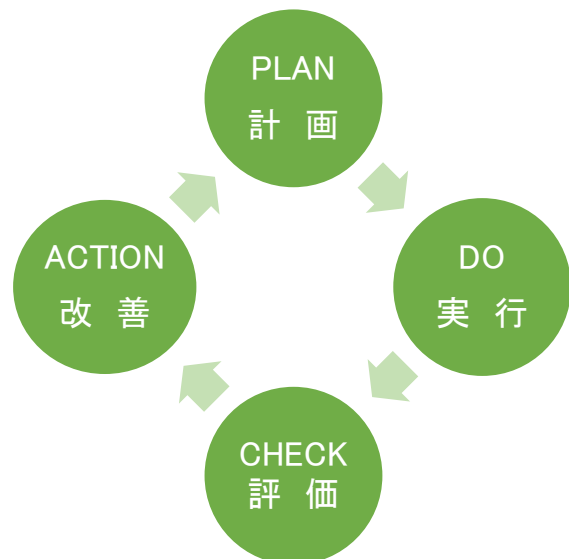


図. PDCA サイクルによる計画の評価・検証

計画における各施策は下表スケジュールに従って実施していきます。

表 施策の実施スケジュール

施策・事業	実施主体	年度					
		R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	
[施策 1] 公共交通に対する関心、認識の改善							
[事業]	① 公共交通に関する利用啓発チラシ及びグッズ作成	市	内容の検討、配布対象の検討、配布				
	② 公共交通体験イベントの実施	市、交通事業者	イベント内容の検討、実施場所の検討、実施				
	③ バスの乗り方学習教室の実施	市	開催内容の検討、実施場所の検討、実施				
[施策 2] 定時定路線にこだわらない柔軟な運行手法							
[事業]	① 地域特性、地域ニーズに合わせて利用ターゲットを絞った新たな移動手段の導入	市、交通事業者	運行概要の検討、事業者選定等、実証運行				
	② MaaSの導入研究	市	情報収集、サービス内容の研究				
	③ 自動運転技術の研究	市、交通事業者	情報収集、サービス内容の研究				
[施策 3] 新たな公共交通利用者の確保							
[事業]	① 情報発信媒体を活用した継続的な情報提供	市	発信内容の検討、活用媒体の検討、発信				
	② わかりやすい系統名、番号の整備	市、交通事業者	表示内容・方法の検討、運用				
	③ わかりやすい時刻表、バス停、乗り場案内等の整備	市、交通事業者	表示内容の検討、配布・運用				
	④ 公共交通に関する情報提供、相談窓口の整備	市	設置場所の検討、整備				
	⑤ 公共交通を活用した健康増進活動の促進	市、関係団体	健康増進プログラムの検討、公共交通との連携方法の検討				
[施策 4] 輸送目的、利用ターゲットを絞ったサービスの検討(通勤対応、通院対応等)							
[事業]	① 鉄道、バス、タクシー車両のバリアフリー化	市、交通事業者	車両の整備、運用				
	② バスロケーションシステムの導入検討	市、交通事業者	情報収集、システムの検討				
	③ キャッシュレス決済の導入検討	市、交通事業者	情報収集、システムの検討				
	④ バス待ち環境の改善	市、交通事業者	対象停留所の選定、停留所の整備				
[施策 5] 既存公共交通の再構築							
[事業]	① 利用ターゲットのニーズに合わせた既存バス路線の見直し、再編	市、交通事業者	ダイヤの見直し・再編				
	② 交通結節点の整備	市、交通事業者	停留所の整備(統一化)、乗り換え拠点の整備				

※実線は、実施・導入・検討、点線は研究を示す

施策・事業	実施主体	年度					
		R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	
[施策 6] 観光二次交通の検討							
[事業]	① 来訪者のための観光直行便の運行	市、交通事業者 関係団体	運行ルートの検討、運行事業者の選定、実証運行				
	② 公共交通と連携した利用促進	市、交通事業者 関係団体	サービス内容の検討、実施				
[施策 7] 運行事業者との協働							
[事業]	① 運転手を対象とした安全運転講習会の実施	市、交通事業者	開催内容の検討、実施場所の検討、実施				
	② ICT 化や車両の改善に関する事業者への支援	市、交通事業者	支援内容の検討、実施				
[施策 8] 運賃以外の収入方策の検討							
[事業]	① 広告掲載、ネーミングライツ	市、交通事業者 関係団体	対象事業者等の選定、掲載・導入				
	② 公共交通サポーター制度の導入検討	市、関係団体	サポーターの選定、制度の導入				
	③ ポイントカードの導入検討	市、交通事業者	サービス内容の検討、実施				
[施策 9] ゼロカーボンへの対応							
[事業]	① ノーマイカーデーの実施	市	実施内容・実施時期の検討、実施				
	② 環境負荷の低いバス・タクシー車両の導入	市、交通事業者	導入	車両の整備、導入			
	③ グリーンスローモビリティの研究	市、交通事業者	情報収集、サービス内容の研究				

※実線は、実施・導入・検討、点線は研究を示す



諏訪市地域公共交通計画 概要版

令和5年3月

発行／諏訪市 〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30

TEL 0266-52-4141 FAX 0266-57-0660

編集／諏訪市地域公共交通活性化協議会
